

読んで知ろう!
住んでるまちの
議会情報!

The 市議会

ザ・シギカイ

Vol.56 2019.11

平成 30 年度決算 …… 2

委員会レポート …… 5

一般質問 …… 7

賛否の分かれた議案 …… 14



市議会フェイスブック



市議会ホームページ



JR厚狭駅前
クリスマスイルミネーション

Y. Kijima

37 事業を重点的に審査

平成 30 年度一般会計決算について、4 つの分科会（総務、民福、産建、理大）で審査しました。歳入総額は 324 億円、歳出総額 312 億円となりました。

本会議最終日に採決が行われ、学校給食センターで地元産食材の採用が進んでいないことや児童クラブの運営が不公平であることなどを指摘する反対討論がありましたが、賛成多数で認定されました。

分科会で審査した主な事業についてお伝えします。（審査事業数：総務 12、民福 14、産建 9、理大 2）

スマイルキッズ 2 万人超が利用

- 平成 30 年 4 月に供用開始し、初年度の利用者は目標 5800 人に対して年間実績が、2 万 2436 人になりました。
- 今後も本市の子育て支援拠点施設としてさらに多くの方に親しんでもらうよう取り組んでいくとのことです。

管理運営費 597 万 1675 円

主な質疑

- Q** 校区ごとの来館者を把握しているか。
- A** 高千帆 39%、厚狭 17.5%、小野田 12%、高泊 9% などである。
- Q** その他の地域の人に来館してもらうための仕組みが必要ではないか。
- A** 本山や津布田からの来館者が大変少ない。市広報で大々的に PR、FM 放送に出演して PR するほか、母子手帳の交付や家庭訪問の際に細かく直接 PR することを心掛けている。



スマイルキッズで遊ぶ子どもたち



←スマイルキッズ

- Q** 駐車場は 50 台に設定したが混み具合はどうか。
- A** 日常的な使用で特に不足したという声は届いていない。
- Q** 建物 2 階をどのように活用しているのか。
- A** 定期的な健診に加え、民生児童委員などの研修や子育て関連の研修の場としても活用している。
- Q** 来館者へのアンケートに「来館の手段」の項目を設けているのか。
- A** 現在、設けていない。今後検討する。



バス路線再編計画策定事業

- 平成 28 年 3 月に策定した「山陽小野田市地域公共交通網形成計画」に基づいた再編イメージを現実のバス路線に具体化していくことを目的とした事業です。
- 今年度から再編計画に基づく事業に取り組み、令和 2 年度末の完了を目指しています。

決算額 380 万円

【3つの基本方針】

- ・現行路線を維持しつつ、効率的な運行体系を実現
- ・大学、商業施設など一定のバス需要が見込める路線を充実
- ・コミュニティバス路線に関しては利用状況に応じて施策を展開

主な質疑

- Q** 人口減少からバスの小型化も視野に入れているか。
- A** 4月から厚狭北部便では14人乗りの車両に更新した。
- Q** 乗り換えの運賃はどうか。
- A** 運送法等で決まりはあるが利用者負担軽減のためICカードの導入など検討したい。
- Q** 市民の意見はどのように反映されたか。
- A** 小野田地区3カ所、山陽地区6カ所を中心に具体的な地域の足の確保を計画に盛り込んだ。



学校給食事業

- 平成 30 年度は 2 学期の給食から 1 センター方式となり、1 日当たり 5315 食が提供されました。
- 事業評価シートに掲げた成果指標の「食中毒とアレルギー事故発生件数」はゼロでした。

決算額 7753 万 5090 円



ある日の学校給食

主な質疑

- Q** 成果指標に食育指導を入れるべきではないか。
- A** 次年度、指標に入れることを検討したい。
- Q** 従来方式とセンター方式の財政分析や他市の事業体との比較はしたのか。
- A** 1 年間の実績がないので難しい。他市との比較はまだできていない。
- Q** 食育だよりは年何回発行しているのか。
- A** 毎月 19 日の食育の日に発行し児童生徒に配布している。給食センターのホームページにも載せている。

保育料 10 月 1 日から無償化へ

概要 保育料の無償化は当初予算 2 億 1103 万円が計上されていましたが、9 月議会の補正予算で 2789 万円追加され、2 億 3893 万円になりました。

これは、当初予算では計上されなかった「幼稚園預かり保育」「認可外保育施設等」が無償化の対象となったため、補正予算で計上されたものです。

また、保育料に含まれてきた副食費については、保護者負担となりますが低所得者については国と県が 1/3 ずつ負担して減免を実施します。



主な質疑

- Q** 幼稚園の預かり保育の利用者はどれくらいいるか。
- A** 取りまとめをしている段階で数値については分からない。
- Q** 無償化によって利用が増えるのではないか。
- A** 「保育料がかからないのであれば預けたいという方が増えるのではないか」と幼稚園から利用者増を心配する声が上がってきている。
- Q** 午睡中の事故を防止するためのアラーム設置は私立保育園だけでなく、公立保育園でも必要ではないか。
- A** 必要であるので、こういったものが良いのか、精査中である。

高千帆児童館の仮設園舎建設へ

概要 高千帆児童クラブは、利用人数が多く児童館で 2 クラス、高千帆小の空き教室で 1 クラス合計 3 クラスで運営されていますが、来年度から高千帆小の空き教室が利用できなくなるために、くし山児童公園内に仮設の園舎を建設するものです。予算額は約 2800 万円で来年度から 3 年間のリース契約となります。

主な質疑

- Q** 高千帆児童クラブの今後の方向性は。
- A** 令和 5 年度に高千帆小の新校舎が建設される予定で、その中に児童クラブ室も入り合計 4 クラスの予定である。
- Q** 高千帆児童クラブは高学年の受け入れができていないが、今後の予定は。
- A** 新校舎建設の際に 2 クラスほど児童クラブとして利用することで対応できる。



←高千帆児童館



←くし山児童公園と高千帆児童館の位置

会計年度任用職員制度の新設

●地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴う条例の制定

概要 平成 29 年 5 月に地方公務員法および地方自治法の一部が改正され、期限付き任用である「会計年度任用職員制度」が新設されたことに伴い、改正を行うものです。

主な質疑

Q 現在の臨時職員との関連はどうか。

A 臨時職員は、令和 2 年度から会計年度任用職員に統合する。これまで 6 カ月ごとの更新であったが、今後は会計年度内の任用となり再度の任用も可能となる。

Q 勤務時間による区分はあるのか。

A 正規職員と同じ 38 時間 45 分勤務のフルタイム職員と、週 37 時間 30 分以下のパートタイム職員がある。

Q 地方公務員法の適用はどうか。

A 地方公務員法の服務規定を適用し、違反等があれば懲戒処分となる。また、一定期間在職しても、正規職員となることはない。

結果 全員賛成



窓口の様子

医師の確保は

●平成 30 年度病院事業会計決算

概要 入院患者数は前年度比 1 日当たり 2 人減で約 3392 万円の減収、外来患者数は前年度比 1 日当たり 6 人増で約 7537 万円の増収となり、収益は前年度に比べ約 4738 万円伸びていますが、給与費や材料費等の費用も約 1 億 2545 万円増加しており、当期の損失額は 2 億 385 万 4839 円となりました。

主な質疑

Q 常勤医師の確保について、大学等への働き掛けを継続していくと言われた。現実には減少しているが、どうなっているか。

A 働き掛けは常に行っている。山口県の特徴として、若い医師が 15 年間くらいで約 30% 減っており、確保が難しい実情がある。

Q 白内障の手術は、当初週 1 回実施する予定であったが、医師の都合で月 1 回しか手術を行っていない。どういうことか。

A 昨年の 8 月から 18 件の手術を行ったが、大学の人手不足もあって交渉が難航し、現状では月に 1 回が精一杯だった。

Q ジェネリック医薬品への取組みはどのような状況か。

A 今年の 3 月に 15 品目を採用し、本年度に入って現在 63 品目採用しており、年度末までには 90 品目、前年度の倍にする予定で、患者負担が減ってくると考える。

結果 全員賛成



水道事業統合

◎所管事務調査

概要 宇部市と山陽小野田市の水道局が検討を進める両市の水道事業広域化について、2022年4月までに水道事業認可や水道料金、財務会計など事業統合の内容について調査しました。

【水道事業広域化検討に係る経緯】

- 平成 25 年 水道事業広域化研究会を設置
- 平成 26 年 研究会報告書（最終報告）を両市の管理者に提出
- 平成 27 年 両市の市長が広域化で意見が一致水道事業広域化検討委員会第1回会議開催
- 平成 31 年 広域推進室・専門部会の設置



←高天原浄水場

事業統合（現時点での方向性）

- ・水道事業認可
- ・水道料金
- ・財務会計等の事務事業や制度
- ・浄水場再編計画（最終的に2浄水場に）

主な質疑

- Q** 料金改定はどのように考えているか。
- A** 両市の同一料金が普通である。平成28年の15%まではいかないが、市民には8%程度増額負担をお願いしたい。
- Q** 広域推進室の設置場所、条例はどうなっているか。
- A** 宇部市上下水道局内に設置しており、条例は設置していない。

国からの交付金額が決定

◎令和元年度一般会計補正予算（第3回）

大学分

概要 普通交付税額が決定し、また学生数も確定したことにより改めて算出した結果、3640万7000円増額となりました。

内訳は工学部の学生数は7人多い924人となりました。学生1人当たりの普通交付税の単価が1万8900円引き下げられ153万4100円となり、659万2600円減少し14億1750万8400円になりました。

薬学部の学生数は24人多い261人となりました。学生1人当たりの普通交付税の単価は1140円引き上げられ、177万7440円となり、4299万9840円増加し4億6391万1840円となりました。

両学部分を合わせた普通交付税の交付額は18億8142万円となりました。

主な質疑

- Q** 単位費用の増減があったが、予算段階あるいは6月補正段階では分からなかったのか。
- A** その時点では分からなかった。
- Q** 工学部の単位費用が引き下げで薬学部の単位費用が引き上げになっているが、理由はあるのか。
- A** 工学部と薬学部の1人当たりの単価を令和3年度までに一定水準まで下げると、国が方針を平成28年度に示している。その水準に至るように均等に単価を段階的に下げていくという考え方で予算編成をしたが、かい離が生じた。国がこのような単価設定をした。





ささきよしゆき
笹木慶之議員



監視カメラによる 防災体制の強化を

【今回の一般質問】

- ・ 人事評価制度の課題と対応
- ・ 職員定数の管理と適正配置
- ・ 防災体制の取組強化の対応

災害情報収集

問 豪雨による災害時において、河川等の状況観測は極めて重要である。監視カメラによる定点観測の導入をすべきと思うがどうか。

答 昨今の豪雨災害は局地化・激甚化が著しく、被害が拡大する傾向にある。昨年7月豪雨の際に画像による情報収集の必要性を感じ、本年、災害対策本部にスマートフォンを配備し、情報収集、状況判断の迅速化・共有化を図っている。監視カメラについては、水位計の設置とあわせ災害時の情報収集能力の強化につながり、市民への情報提供、避難情報等に活用できると必要性は認識している。市長会等においても同様の要望が出ており、県や関係機関とも連携して検討していきたい。

問 災害情報収集時に現場対応する職員の安全確保は重要である。ライフジャケットの着用およびドローンの活用はどうしているか。

答 ライフジャケットについては、職員の危機管理面から必要であり、すぐ対応する。ドローンは昨年、市で購入し操作できる職員も10名いる。今後できるだけ活用する。

急げ・Jアラートの整備を

問 学校・公共施設の既放送設備を利用するJアラート設置の対応はどうなっているか。

答 今年対象である公立小・中学校および公・私立の保育所・幼稚園等の35カ所で接続の可否等を調査しており、9月にはすべて調査結果が出る。これを踏まえ、できるだけ早い時期の導入を進める。



ライフジャケット着用をする職員



地方卸売市場

問 地方卸売市場の活性化は、中小業者の営業を守り、市民の台所を守る上で重要である。市はどのように活性化させようとしているのか。

答 市場に出荷する方、市場から青果物を買ってくれる方をいかに増やしていくかだと考える。

問 新たに取引に参入したとの話は聞いていない。市内の業者に参入の働きかけをやっていないのではないのか。

答 手をこまねいているわけではない。トップセールスについても動いていきたいと考えている。財務状況についても改善のために財務の分析も行っている。

市場を存続させよ

問 現状は、今の仲買業者が他の市場に取引を移している状況だ。今のままでは先細りである。藤田市長自身による市内の大手スーパーに地方卸売市場を通した青果物のトップセールスしか打開できないのではないのか。今は、中央青果の倒産を許すようにしか思えない。市場を存続する考えはあるのか。

答 現在、市の職員が卸売会社の社長を兼ねるというあまり望ましい形とは言えない状況だ。経営の改善はそう簡単にはいかない。中央青果の経営改善か、他の手法論において市場が機能するのであればそういうことも模索しないとイケない。

市場活性化のために 市長が先頭に

【今回の一般質問】

- ・ 埴生地区レーダー基地建設
- ・ 地域通貨
- ・ 地方卸売市場



やまだのぶゆき
山田伸幸議員

藤岡修美議員



市民サービスの向上を

【今回の一般質問】
・市民サービス向上
・スポーツ振興

問 他市では、マイナンバーカードの申請手続の一環として、市が写真を撮ってくれるところもあるようだが、本市でも取り組めないか。

答 令和3年3月から、マイナンバーカードの健康保険証利用を本格運用するので、国からもマイナンバーカードの普及促進に取り組むように要請があった。本市もコンビニ交付を始めるが、写真撮影をして、タブレット端末等でオンライン申請をするまでを支援するという取組みも考えていきたい。

スポーツ施設整備の財源確保を

問 ネーミングライツは、市施設に企業名等を冠した愛称を付与する権利のかわりに、新たな財源の獲得による施設の適正な運営維持や魅力向上等を図るものだが、スポーツ施設改善の要望が多く出ているなか、企業等からの企画提案型ネーミングライツの取組みができないか。

答 本市は、施設・建物のみを対象とするネーミングライツ導入の基本方針を定めているが、企画提案型も検討して、自主財源の確保という観点から進めていきたい。

問 スポーツ振興くじ助成事業を利用したテニスコートの人工芝生化、夜間照明施設の整備ができないか。

答 老朽化したテニスコートの補修計画はあるが、人工芝生化や夜間照明化の計画はない。



マイナンバーカード

タンDEM自転車



問 市場の運営正常化に向けた今後の取組みはどうか。

答 取扱高を増やし、売買参加者を増加させるため、今年度設置した市場運営協議会で取扱高対策や環境整備について問題を指摘してもらい、改善策を協議していきたい。

サイクリングでまちづくり

問 サイクリングを通じたまちづくりの取組みについてどうか。

答 山陽オートレース場におけるパラサイクリングナショナルチームのキャンプ誘致が定着し、これまで10回の受け入れを行っている。2020年の東京パラリンピックに向けた同チームの直前キャンプ地にも正式決定しており、一層のPRをしてまちづくりにつなげていきたい。

問 ポタリング（散歩程度のサイクリング）で、本市の観光や施設・美味しい食べ物や特産品をPRしていく取組みについてどうか。

答 本市でも平成27年と28年に山口東京理科大学サイクリング部の皆さんと「自転車さんぽ山陽小野田一街のお宝再発見」というイベントを実施していたが、現在は一時期に比べて下火になっている。関係団体や事業者の主体的な取組みを促していき、近隣自治体とも連携しながらポタリングの実施に向けて努力していく。

ポタリング

ポタリングで本市をPR

【今回の一般質問】
・市場運営正常化への取組み
・サイクリングでまちづくり
・ポタリングによる本市のPR



中岡英二議員





適正かつ合理的な 土地利用を

【今回の一般質問】

- ・都市計画マスタープラン
- ・スマイルエイジング
- ・バス高速輸送システム

用途地域変更

問 都市計画マスタープランの改定を踏まえて用途地域をどのように見直しているのか。

答 用途地域の指定方針及び指定基準に基づいて、計画的に市街化を誘導すべき地域等については、適正かつ合理的な土地利用を図るため新たに指定する。他方、都市的土地利用が見込まれない地域については、廃止する。また、用途地域に指定している区域のうち、土地利用の現況や動向等を勘案して適切な用途地域に変更することになる。

社会情勢に即した用途地域変更を

問 山口東京理科大学周辺は第1種住居地域に指定されているが、これを商業地域に変更することでショッピングモールなどを建設できるようにしてはどうか。

答 この辺りは良好な居住環境というイメージを持っている。規制を緩和すると周りの環境悪化ということも懸念されるが、今後の調査結果によるかと思う。

問 県立おのだサッカー交流公園周辺は工業専用地域であり、工場しか建てられない状況である。集客を図るための施設の必要性が出てきた場合に、それに応じた用途地域に変更すべきではないのか。

答 この辺りは交流人口の増加を促進するという方針案を作っている。そのための変更が今後必要になってくると思う。



県立おのだサッカー交流公園



喫煙対策

問 市役所の屋上の喫煙所（特定屋外喫煙場所）は設置場所として問題はないか。

答 屋上設置場所については、出たすぐの場所に灰皿を配置している。現実的な数値として「10mルール」を設定された経緯もあり、煙が屋内に入らないことが、当然必要なことである。現在の灰皿の位置については、変更を考えている。

図書館での敷地内禁煙を

問 図書館について、宇部市は敷地内全面禁煙とする第1種施設であるが、本市は駐輪場の端に喫煙場所があり、なぜ第1種施設に該当しないのか。

答 第1種施設とは、政策や制度の企画立案業務を行う部署が条件となっている。本市において図書館は、第2種施設の1施設との位置づけである。現在の利用状況は子供たち、妊婦さんの利用はあるが、それが主たる利用者とはなっていない。利用者の3割程度が未成年であることから、第2種施設としての対応である。

問 市民体育館の喫煙場所は、身障者用駐車場の真横にあり、問題ではないか。

答 身障者用駐車場のすぐ近くであり、受動喫煙の防止にふさわしくない場所である。今現在、そこから離れた位置で、元の市の資源ごみ、回収施設があった場所に灰皿を移動させている。

受動喫煙の対策 は万全か

【今回の一般質問】

- ・受動喫煙対策



奥良秀議員
おくよしひで



小野田児童館の今後の方向性は

【今回の一般質問】

- ・小野田児童館の管理状況
- ・理大工事に発生した諸問題

児童クラブ

問 小野田児童館の耐震強度はどのぐらいあるか。

答 耐震改修促進法で定められた耐震診断が義務付けられた施設でないため、耐震診断は実施していない。しかし、施設は築60年と老朽化しており、近年は不具合箇所も少なくないのが現状だ。指定管理者と施設の状況について連携を密にし、施設利用者の安全に最大限考慮し、適切な維持管理に努める。

問 小野田児童クラブを運営する施設は建て替えの方向性がでたが、小野田児童館はどのようになるのか。

答 児童館機能の今後の方向性については、市全域の不公平という課題を踏まえた上で検討していく。担当課だけで決められるものではなく、関係のある課等と協議し早急に方向性が決定するように努める。

駐車場の使用目的は何か

問 小野田児童館の駐車場利用は適正に行われているか。

答 小野田児童館の利用者は、児童クラブやふれあい相談室を利用する子供たちである。保護者の方には子供たちの安全に最大限留意し適正に駐車場を利用していただいている。しかしながら、当館の利用とは関係のない駐車場利用も行われている。理由は不明である。担当課は当館を利用する子供たちの安全に十分配慮するよう注意喚起を行った。今後の対応については、これから検討する。



地元にも愛される小野田児童館

人気のスマイルキッズ



市内移住施策

問 少子化、高齢化で住みにくいと言われているが、うちの市は違うんだという未就学児童を抱える子育て世代への市内移住施策はどうか。

答 子育て世代が住むまちを選ぶ際に重視するポイントに、医療（特に産科、小児科）、保育園・幼稚園、そして住みやすい環境（住宅、公園、買物）の充実が大事と考えている傾向がある。また市内の転入者にアンケートで「必要な市の支援策」を聞いたところ、家賃補助や転入奨励金、リフォーム助成金といった住宅への支援が6割で、子どもの医療費や保育費の補助等子育て支援が3割であった。これらのことから今までも各種施策を講じているし、今後も重点課題としている。

問 答弁に教育という言葉がなかったが、市内の教育の魅力をどう思うか。

答 総合計画の基本計画では重点施策になっているように、学校教育施設等の充実も当然魅力の一つと考えて施策を講じている。

若者世代の移住が市の未来を開く

問 まだ市内には1カ所しかないが、去年4月にオープンした小野田駅北側のスマイルキッズは魅力になるのか。

答 予想を上回る多くの利用があり、市内外から年間約2万2000人の来館で利用者の声も好評である。このことから、スマイルキッズが市内移住を良い方向に向かわせていると考える。

子育て世代の市内移住策はあるのか

【今回の一般質問】

- ・大学への地方創生推進施策
- ・観光行政とまちづくり
- ・子育て世代の市内への移住



長谷川知司議員
はせがわちともし

ようやく前進 動物愛護



【今回の一般質問】

- ・動物愛護
- ・防災
- ・子どもの健やかな成長のためなど

動物愛護

問 本市においては、猫の繁殖問題が大きいことから猫の避妊・去勢を進め、不幸な命をつくらない必要がある。市民や関心の深い方々に協力をしてもらい、民と官が一緒になって取り組む観点から、クラウドファンディングを開始してはどうか。

答 飼い主のいない猫の避妊・去勢の推進に賛同される方々の支援により財源を確保する一つの手法として、クラウドファンディングは有効な手法であり、ぜひ提案したいと考えている。

問 犬や猫をどうしても飼えなくなった人を支援していくことも、殺処分ゼロを実現する手だての一つと考える。市役所ロビーを使用し、里親探しへの支援ができないか。

答 市役所ロビーへの掲示板などについては、設置は可能であろうと考えている。ただ、動物愛護団体など、動物の里親探しの活動を適正に行っておられる団体が責任を持って、掲示板の管理を行っていただくことが条件になる。

多くの市民に関心を持ってほしい

問 動物愛護月間をどう取り組むか。

答 今年度、新たな取り組みとして、市役所のロビーにおいて、動物愛護に関するパネル等の展示を行い、より一層の啓発を図っていくこととしている。展示の内容については、市の持っている資料と動物愛護推進員が持っている資料をあわせて、どのような形にするかは協議中である。



初開催した動物愛護の展示



不妊治療費助成

問 不妊治療費助成の課題をどう考え、制度の見直しについて検討しているのか。

答 平成30年度の助成実績は一般不妊治療60件、人工授精治療29件、特定不妊治療60件であり、まだまだ助成制度の周知が不十分ではないかと考えている。また制度が始まって14年間、制度の見直しは検討していない。

問 不育症治療助成について他市では独自の助成制度を設けているが本市にも制度を導入してはどうか。

答 制度導入よりも、まずは不育症で悩まれている方への相談窓口等の情報提供ができるように周知していきたい。

問 共働き世帯が増える中、不妊治療と仕事の両立について市はどう考えているか。

答 現在、直接的な取り組みは行っていないが、デリケートな問題と十分理解し、国のリーフレットなどを活用して事業所への制度の周知や意識啓発を行っていきたい。

情報の徹底周知を！

問 子育て支援アプリ「さんようおのだっこ」内の妊娠支援情報をさらに充実させてはどうか。

答 子供を持つ世帯にも2人目3人目を計画する上で支援の情報を発信することは重要であると考えている。今後、関係課と連携して具体的な情報発信ができるよう工夫していきたい。

妊娠支援の充実を



【今回の一般質問】

- ・妊娠支援の充実
- ・在宅育児支援策
- ・地域担当職員制度

すぎもと やすき
杉本保喜議員



ロードマップ (行程表) は

【今回の一般質問】

- ・ 地域公共交通
- ・ 防災体制

公共交通

問 地域公共交通網形成計画の取組み状況の中で地域公共交通会議の過程の公表および該当地域に意見を求める等の計画はどうか。

答 会議は平成26年3月から今日まで20回実施し、市のホームページで公表している。交通施策の円滑な施行には利用者ニーズの把握が不可欠であり、交通施策の展開において対象地域での十分な意見交換が行えるよう努める。

便利な市民の足は？

問 ロードマップ(行程表)が示されていないが、今後の行程はどのように進めるのか。

答 公共交通網形成計画が令和2年度まででバス路線の再編と併せ、見直しも検討する時期になっている。コミュニティ交通としての高泊線についても地域との話し合いをする中で運営方法も含め協議したい。江汐公園や理科大への乗り入れ、宇部市交通局のサンパークへの乗り入れはまちづくりとして検討を進める。

問 防災体制において長期の避難所生活が必要な場合、市民体育館の使用が想定され、そのためにも体育館の空調設備が必要であると思うがどうか。

答 本市は33カ所を避難所としている。避難勧告もレベル4には「全員避難」となる中で、現在の避難所の受入率が全市民の約25%程度という実情である。避難所は、昨年度から学校の普通教室への拡大も進め、民間事業所からの社屋の活用等申し入れも受けているが、快適な避難所の環境維持から関係部署との協議も必要と考えている。



きらら交流館停留所時刻表



認知症支援策

問 認知症患者は、2025年には65歳以上の高齢者5人に1人、全国で約700万人になるという推計が出ているが、本市の現状と取組みはどうか。

答 平成31年3月末で、要介護認定者が3857人で、そのうち認知症により日常生活に支障を来し、何らかの支援が必要と判断された方は2634人で年々増加傾向にある。認知症は誰もがなり得るもので認知症を正しく理解するため、認知症サポーター養成講座の実施等で普及啓発に力を入れている。また、医療と介護の連携推進事業において、他職種の研修会を定期的開催している。

認知症患者の受け入れ体制は

問 認知症患者受け入れ施設と利用者の現状はどうか。

答 専門施設として、認知症対応型通所介護事業所と認知症対応型共同生活介護事業所があり、本年6月で前者は市内に10カ所あり161人、後者も10カ所で117人が利用されている。介護保険の他のサービスもあり、現在はサービスの利用での不足は生じていない。

問 認知症患者の家族など介護者支援の取組みはどうか。

答 誰もが参加でき、相談や情報共有ができる「認知症カフェ」設置の推進や家族介護者交流会事業の実施に取り組んでいる。また、小規模多機能型居宅介護サービスなどの利用促進、相談窓口として市直営の「地域包括支援センター」の活用、周知により介護者の負担軽減に努めている。

認知症患者の 現状と取組み

なかむら ひろゆき
中村博行議員



【今回の一般質問】

- ・ 農業政策
- ・ 認知症対策
- ・ 汚水処理



具体的な農業政策の推進を

【今回の一般質問】

- ・ 公共施設の整備更新
- ・ 本市の農業振興

農業振興

問 他市では、認定農業者の意見交換会をしているが、本市でもそういった意見交換をする場、具体的な支援や取組みを協議する場を設けるべきではないか。

答 今年度から新たに創設した新規就農者支援事業も担い手からの要望である。市としてどのような支援ができるか研究するためにも、担い手を集めての情報交換は非常に有効な手段だと考える。

問 ミヤタマモチを使ったお酒のお披露目会があった。地産地消として推進できないか。

答 これまで菓子工業組合との契約栽培でミヤタマモチを提供していたが、今回お酒を作っていく試みは大変素晴らしいことである。製造者からは、やっと緒についたばかりで、さらに研究したいと聞いている。ミヤタマモチは県下でも35～40%のシェアが本市にある。これが特産品になればという気持ちも持っており、関係者と協議をしながら進めていきたい。

まずは現場で生産者の声を聞くこと

問 畜産農家を訪問し状況等を聞いたとのことだが、数年ぶりに市の役職付きが来てくれたと農家は喜んでいて。話を聞く中で、これは改善しないといけないというものがあったか。

答 堆肥処理にかなり費用がかかるということで、市から助成をしてもらえないかという要望があった。堆肥処理費用の確認をし、市としてどのような支援ができるのか、今後研究したい。



もち米で試作された日本酒・高泊



公共施設改善

問 厚狭公民館の施設改善に、多くの団体から要望書が提出されているが、使い勝手が悪いのか悪くないのか、この場で回答すべきではないか。

答 利用者にとって使い勝手が悪いところもある。不便な点があり、満足がいく施設であることではないと認識している。特に、中庭の真砂土舗装について、3年半が過ぎて昨年より雨水で表面に凹凸が出始めている。亀裂が生じ、つまづくなど危険な状態になる可能性があり、早い段階での改修方法を考えていく。

廃止説明会を年度内に実施

問 なぜ今の時期に、山陽勤労青少年ホームを先行的に廃止宣告されたのか。理由や廃止時期を明らかにすべきではないか。

答 ①老朽化②類似施設の統廃合③危険施設であることから、今後は、利用者へ説明し、アンケート（意向把握）や意見交換を行い、教育委員会等内部調整後、できるだけ早く年度内までに廃止時期を示していく。

問 利用者が厚狭公民館等希望する公共施設で、活動が継続できる保証はあるか。

答 できる限りの配慮をしていくが、空いている状況が少ないということもあり、100%いけるとはならないこともある。

施設利用者のためになっているか

【今回の一般質問】

- ・ 厚狭公民館の利便性
- ・ 山陽勤労青少年ホームの廃止時期
- ・ 児童クラブ施設の整備



◎賛否の分かれた議案です

9月定例会で議案等35件を審議し、賛否の分かれた13件を掲載しています。そのほかについては、全員賛成で可決しました。全議案の審議結果は、市議会ホームページに掲載しています。

令和元年9月定例会 議案の審議結果	議決結果	議員名																						
		伊場勇	大井淳一朗	岡山明	奥良秀	河崎平男	河野朋子	笹木慶之	水津治	杉本保喜	高松秀樹	恒松恵子	中岡英二	中村博行	長谷川知司	藤岡修美	松尾数則	宮本政志	森山喜久	矢田松夫	山田伸幸	吉永美子	小野泰	
平成30年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度山陽小野田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度山陽小野田市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度山陽小野田市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度山陽小野田市水道事業決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山陽小野田市会計年度任用職員の給与等に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山陽小野田市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
山陽小野田市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
旭町地域における農用地区域内の農地除外に関する請願書	継続審査	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×	○	×	○	×	○	○	
横土手農業振興地域内の農用地区域の除外に関する請願書	継続審査	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×	○	×	○	×	○	○	



※表の見方 ○：賛成 ×：反対 ー：棄権又は欠席

小野泰議員は議長であるため賛否の結果はありません。

松尾数則議員は監査委員であるため決算認定の採決には加わりません。

視察報告

◎民生福祉常任委員会

・視察者 吉永美子、山田伸幸、大井淳一郎
水津治、杉本保喜、松尾数則、矢田松夫

・視察日 8月6日～7日

・視察内容

- ① 地域支え愛ポイント制度（岐阜県^{かに}可児市）
- ② 手話言語条例（愛知県^{とこなめ}常滑市）
- ③ 介護予防及び認知症総合支援事業
（愛知県^{おおふ}大府市）

・考察

可児市では、ボランティアによる支え合い活動を支援するためにポイント制度を構築している。このことがボランティアを始めるきっかけとなり、支え合い活動の活性化につながっている。常滑市では、手話言語条例の制定を受けて手話通訳者を各課に派遣するなど、障がいのある人が安心して暮らせるまちづくり



愛知県常滑市

に寄与している。大府市では、専門機関と連携しながら「認知症不安ゼロ作戦」を展開し、コグニノート（活動記録手帳）の作成などを開始している。

本市もこれらの取組みを参考にし、できるところから推進していくべきである。

◎会派明政会

・視察者 伊場勇、小野泰、河崎平男

・視察日 7月2日～3日

・視察内容

- ① 男性の育児休業取得奨励事業
（静岡県三島市）
- ② 特色ある教育モデル推進事業
（神奈川県伊勢原市）

・考察

三島市では妊娠期から出産、子育て期に至るまで子育て支援事業を実施している。そうした中、男女共同参画社会の実現を目指し、男性の家事、育児への参加を促す方を推進している。

また、伊勢原市の教育推進事業では、ICT



伊勢原市立大山小学校 IT 教育

機器と外国語活動を組み合わせて時代に対応した児童の育成を図っている。小規模校維持のため、一人一人に目が届く丁寧で特色ある教育を行い特例的に学区外通学を認め、人口減少時代の新しい教育体制の可能性を感じた。

◆ 山口県市議会議員研修会 ◆

8月9日（金）柳井クルーズホテル サザンセットホールで行われた市議会議員研修会に20名の議員が参加しました。

【講演内容】

午前の部 演題「ここがポイント自治体議員のコンプライアンス」

講師 千葉県市川市議会事務局 野村憲一氏

午後の部 演題「地域のグローバル化とダイバーシティ」

講師 弁護士 杉田昌平氏

午前の研修では、自治体議員の議会内、議会外でのコンプライアンス（法令遵守）はどうあるべきかを研修しました。住民の付託を受けた議員は、法的責任、道義的責任が加わり、高いレベルのコンプライアンスが求められるということです。

午後の研修では、外国人の増加により、入管法、労働法等適用があり、受入企業の就業規則も意識した上で対処することが重要であることを学びました。



杉田弁護士の講義

お知らせ

12月定例会会期日程（予定）

本会議の日程

12月定例会の日程（案）をお知らせします。会期日程は、諸事情により変更される場合があります。ご了承ください。

月 日	本会議
12月 4日(水)	議案上程・説明
12月10日(火)	一般質問
12月11日(水)	一般質問
12月12日(木)	一般質問
12月13日(金)	一般質問
12月16日(月)	一般質問
12月20日(金)	質疑・討論・採決

編集室より



市議会議員の任期も前半の2年が経過し、後半戦に入ってまいりました。現広報特別委員会の編集も今号が最後で、次号は新広報特別委員会としての編集になります。「市民の皆様に議会の様子を分かりやすく、読みやすい」紙面づくりの継承を行い、今後も“ The 市議会 ”をご愛読して頂けるよう頑張ってまいります。

◎広報特別委員会

委員長 山田 伸幸 副委員長 水津 治
委員 大井 淳一朗 委員 岡山 明
委員 奥 良秀 委員 河崎 平男
委員 河野 朋子 委員 笹木 慶之
委員 恒松 恵子



《表紙の説明》 厚狭駅前のイルミネーションは「地域の未来に希望を」と始まったもので、点灯式には恒例となった人前結婚式が行われます。イルミネーションが点灯され、ハンドベル演奏が2人の門出を祝うように奏でられます。冬を彩る恒例行事となっています。